

低学年軟式野球交流大会

競技運営上の細則

※今年度はコロナ対策により、交流戦のみの実施で、決勝戦は行わない。

取り決め事項

- 1 1単位団1チームとする。(但し、本年度は市町村で混成チームを編成してもよいが、混成チームを編成する場合は、双方の団に2年生以下の登録団員がそれぞれ1人以上いること。)
- 2 選手は、県スポーツ少年団に登録済の者とする。
- 3 チーム編成は、1年生から3年生までの男女学童とする。
未就学児の登録は、安全確保が困難な為不可とする。
- 4 野球を楽しませる組織にすること。

- 1 試合ボールは、軟式D号ボールを使用する。
- 2 試合回数は、5回とするが5回に満たなくても45分を経過したときは、新しいイニングに入らない。
1イニングの得点可能点数は5点までとし、規程の得点数に達した場合には、その時点で攻守交替とする。延長戦は行わない。同点は抽選とする。
- 3 相手チームが棄権した場合は、5対0で勝ちとする。
- 4 服装は、特定しないが運動の出来るものを着用し、必ず着帽すること。
- 5 靴は、運動靴とする。
- 6 ヘルメット着用は、打者と走者で最低4つ用意する。
- 7 捕手(キャッチャー)は、マスクとキャッチャーヘルメットを着用する。また、その他の防具を着ける事が望ましい。(例:レガース、プロテクター、ファウルカップ等)
- 8 ビヨンドバット等の複合バットの使用は禁止する。(通常のアلمバットが望ましい)
- 9 盗塁は、認めない。なお、ランナーは、打者が打ったとき以外は離塁できない。
- 10 投げる人は、味方チームの大人(お母さんが望ましい)が下手から投げてやること。
- 11 フェア・グラウンドの飛球(フライ)について
 - ・内野手が処理した場合は、捕球アウト、落球はセーフとする。
 - ・外野手が処理した場合は、捕球またはグラブに触れて落球してもアウトとする。
- 12 ファウル・グラウンドの飛球(フライ)は、捕球アウト、落球はファウルとする。
- 13 競技場は、各塁間21m、投手よりホームプレート間8.5mとする。
- 14 ベースは移動とする。
- 15 投手(ピッチャー)の守備位置は、ホームから2塁ベース線上の14m地点を中心に直径2.5mの円形を描いた範囲内とする。
- 16 一塁、二塁、三塁、本塁は、捕球または、グラブに触れて落球してもアウトとする。ただし、二塁、三塁、本塁でホースプレー以外は、タッチプレーとする。その場合、落球してもアウトとする。
- 17 打者は、2ストライクまでは、カウントを取るが、**その後空振り以外は三振を取らず、四球はない。**
- 18 審判は、両チームから2名ずつとする。
- 19 各チームは、必ず責任者と監督をおくこと。
- 20 打球が、投手(大人)に当たった場合は、ボールデットでノーカウントとする。
- 21 バンド(スクイズも含む)は禁止とする。
- 22 ランナーコーチは大人とする。
- 23 タッチアップは採用しないが、離塁をしていてボールが元の塁にかえた場合はホースアウト。但し、捕球しないで、ボールがグローブに触れてアウトの場合はボールデットとする。
- 24 外野ゾーンは50m曲線とする。
- 25 ベンチの指示は監督、コーチ、のみとする。親は応援のみとする。